

コンテナ荷票の廃止について

- 「IT - FRENS & TRACE システム」完全実施 -

平成17年12月14日

「IT - FRENS & TRACE システム」の平成17年10月からの全面稼働に伴い、業務の効率化及び完全移行のため、平成18年1月10日（火）からコンテナ荷票を廃止いたします。

1. コンテナ荷票とは

コンテナ荷票は、コンテナの荷札ともいうべきもので、貨物を円滑、迅速正確に目的地まで移動させるために使用するものです。

昭和34年の鉄道コンテナ輸送開始時から今日まで、コンテナの行き先を示す帳票として全てのコンテナ（空コンテナを除く）に使用しているものです。コンテナの行き先、中継（乗り換え）駅及び列車番号が表示され、フォークリフト荷役に対する作業指示帳票として使われてきました。

2. コンテナ荷票作成方法及び種類

これまで、全ての荷票は自動印刷により作成されてきました。
また「急送品荷票」や「中継荷票」などの種類があります。

3. 廃止の理由

荷票は紙質により紛失しやすい等の欠点があり、情報伝達手段のIT化が望まれていました。

「IT - FRENS & TRACE システム」の稼働により、どのコンテナをどの列車に積載するか、駅構内のどの位置にどのコンテナがあるか、誰が・いつ・どのコンテナを持ち出したか、といった情報をリアルタイムでフォークリフト荷役作業時に伝達することが可能となったため、廃止することになりました。